

公の施設の指定管理者管理運営状況評価結果

1. 基本情報

(1)管理施設

施設名	竹ん子学童保育クラブ		
施設概要	【所在地】町田市本町田1212(町田第三小学校校舎内) 【開設年月】2000年 【開所日時】月曜日～土曜日/8時～19時 【建物面積】延床面積119㎡ 【建物構造】鉄筋コンクリート造 校舎棟内1階部分及び3階パソコンルーム 【児童数】107名(2023年4月1日時点)		
設置目的	小学校に就学している児童で家庭において、保護者の適切な保護を受けられない者に対して組織的に指導を行い、もって学童の事故防止と心身の健全な育成を図るため		
設置根拠法令・条例	児童福祉法、町田市学童保育クラブ設置条例		
所管部課	子ども生活部児童青少年課	問合せ先	042-724-2182
施設ホームページURL	https://www.machida-syakyu.or.jp/jigyo/j3-shokai.html		

(2)指定管理者

指定管理者名	社会福祉法人 町田市社会福祉協議会	法人番号	2012305000201
指定管理者所在地	町田市原町田4-9-8		
指定期間	2020年4月1日～2025年3月31日		
指定管理業務の内容	(1)クラブに入会した学童の保育に関する業務・・・余暇・生活・学習・安全指導、おやつの提供等 (2)クラブに入会した学童の特別保育に関する業務・・・特別保育の利用承認、賦課及び徴収等 (3)管理施設及び設備の維持管理に関する業務・・・施設の保守・管理、修繕等 (4)前各号に規定したもののほか、市長が指定した業務・・・市への報告業務、利用者アンケートの実施等		
利用料金制	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 併用 <input type="checkbox"/> 非該当	選考方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募

2. 選定時の提案内容

提案内容(目標値など)	達成時期	達成状況
様々な体験活動を行う	毎年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・光る泥だんご作り、プラバンキーホルダー作り、うちわ作り、クリスマスツリー作りなどの制作活動を行った。</li> <li>・夏休みには、保護者参加行事としてミニ祭りを行い、お化け屋敷、スーパーボールすくい、ゲームセンター(コリント・さかなつり等)を実施した。</li> </ul>
職員の質の向上を図る	毎年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己研鑽のため、常勤職員は年間15回以上研修に参加し、スキルアップに努めた。</li> <li>・職員ミーティングを毎日行い情報共有に努め共通認識の中で育成支援に繋がった。</li> <li>・「自己評価表」や「個人の課題への取り組み計画・評価表」を用いて個々の意識を高め質の向上に努めた。</li> <li>・階層別研修を法人内で実施し、職員のスキルアップを図った。</li> <li>・人事考課制度を実施し人材育成の強化を図り、職員の育成に繋がった。</li> <li>・臨時職員も研修に積極的に参加し知識を深め、施設長との面談を実施し意識向上に繋がった。</li> </ul>
安全管理に努める	毎年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTシステムを活用し、子どもの登降所時間を確認するとともに保護者へも通知し、子どもの安全管理に努めた。</li> <li>・戸外遊び中は正門・階段門・裏門付近に職員を配置し、来訪者へ積極的に声掛けした。また児童が全員室内で過ごしている時間帯は、昇降口を施錠しインターホンで対応する等、防犯対策を徹底した。</li> <li>・手洗いスタンプを活用し、手指洗浄の衛生指導を行い、感染症予防対策を心掛けた。</li> <li>・町田警察署に依頼して不審者対策訓練を実施した。不審者への対応方法を学び防犯対策の強化に努めた。</li> </ul>

3. 昨年度の課題

内容	特になし
----	------

4. 総合評価及び所見

総合評価	<b>A</b>	【総合評価基準】 A:良好である B:要求水準達成 C:良好ではない D:大きな課題がある S:Aのうち実施内容が特に優れている
所管課総合所見(特筆すべき点(Sの場合必須)、提案内容の実現状況、昨年度の課題への対応等)	利用者満足度調査について、全体満足度についてはA評価の基準を超える95%以上、サービス・施設管理面については目標値である96%には届かなかったものの、90%以上の満足度を得られていることから、高いサービスを提供していると判断できる。栽培活動や生き物との触れ合い、夏休み中の複数回のイベント実施など、様々な体験活動を行ったことが、結果につながったと考えられる。 利用者満足度調査回収率は95%を超えており、利用者意見の収集に対する取り組み成果がうかがえる。また、回収率から、調査結果の精度は高いと判断できる。 研修の平均受講回数はA評価の基準を超える17.3回であり、積極的に職員の能力向上に取り組んでいると判断できる。 業務履行状況・財務状況は全項目「適」と要求水準を満たす運営を行っていた。 以上のことから、総合評価を「A」とした。	

【評価対象年度 2023年度】

指定管理者所見(補足説明・アピール・未達成項目の改善策等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休みの思い出作りとして毎週イベントを企画し、光る泥だんご作り、プラバンキーホルダー作り、うちわ作り、水鉄砲大会などを行った。イベントを楽しみにして登所する様子が見られた。</li> <li>・夏休み最後の大イベントとしてミニ祭りを行った。3年生以上の児童が主体となって、イベントブースの企画や準備を行い、お化け屋敷、スーパーボールすくい、ゲームセンター(コリント・さかなつり等)を実施し、夏祭りの雰囲気味わい、楽しむ様子が伺えた。保護者参加行事として開催したため、子どもたちが友だちと関わる様子を見ていただきながら、一緒に楽しんでもらうことができた。</li> <li>・ゴーヤ・オクラの栽培活動を通じて、作物を育てる楽しさと収穫する喜びを味わった。</li> <li>・トカゲ・カブトムシ・クワガタ・セミ・タマムシ・ナナフシ・カナブンなど、たくさんの生き物にふれあい、命の大切さを学ぶことができた。</li> <li>・近隣の高齢者施設に年賀状を書き、4年生児童が代表で実際に施設を訪問して年賀状を届けにいった。コロナ禍で直接的な交流ができずにいたが、少人数で交流ができるようになった。</li> <li>・SDGsのポスター掲示や、SDGsすごろく・SDGs関連絵本などを提供し、日常の中で積極的に取り組んでいけるよう配慮した。</li> <li>・町田地区別懇談会に参加し、地域の関係機関との関係を深めた。</li> <li>・ICTシステムを活用することにより、保護者との連絡ツールが広がったこと、毎週クラブの様子を写真で配信することにより、保護者にクラブの日常の様子が伝わるようになった。</li> </ul>
-------------------------------	---

5. サービスの質に関する評価

【利用者アンケート調査】

調査概要	【調査期間】2023年12月1日～12月28日(28日間) 【登録児童数】95名(調査月1日時点) 【配布枚数】86枚 【回答数】85枚 【回収率】98.8% 【調査方法】ICTシステム『コドモン』
------	---

指標1	評価基準	目標	結果	評価	
利用者満足度 (全体満足度)	(全体満足度の項目において、満足・やや満足とつけた保護者割合) A: 95%以上 B: 75%以上～95%未満 C: 75%未満	96%	96.5%	A	
指定期間内における実績(単位: %)					
年度	2020	2021	2022	2023	2024
目標値	95	95	96	96	96
実績値	98.0	100.0	96.1	96.5	

指標2	評価基準	目標	結果	評価	
利用者満足度 (サービス・施設管理面)	(サービス、施設管理面等の9項目において、満足・やや満足とつけた保護者割合の平均) A: 95%以上 B: 75%以上～95%未満 C: 75%未満	96%	93.6%	B	
指定期間内における実績(単位: %)					
年度	2020	2021	2022	2023	2024
目標値	95	95	96	96	96
実績値	94.8	90.0	93.5	93.6	

指標3	評価基準	目標	結果	評価	
研修参加回数	(常勤職員の市及びその他関係機関主催研修会回数の平均) A: 10回以上 B: 2回以上10回未満 C: 2回未満	11回	17.3回	A	
指定期間内における実績(単位: 回)					
年度	2020	2021	2022	2023	2024
目標値	11	11	11	11	11
実績値	16.5	11.5	16.0	17.3	

【評価対象年度 2023年度】

サービスの質に関する総合評価	所管課所見
A	利用者満足度においてB評価の基準を超える75%以上の保護者が「満足」または「やや満足」と回答しており満足度は要求水準に達していた。保護者からも一定以上の満足度を得られていることから、適正な運営が行われていると判断できる。アンケート回収率は90%を超えており、利用者意見の聴取に積極的に取り組んでいたと判断できる。研修の平均受講回数は17.3回とA評価の基準を超えており、積極的に職員の能力向上に取り組んでいると判断できる。町田市主催研修に参加するだけでなく、運営法人やクラブ内研修等を積極的に実施していることも評価できる。

【サービスの質に関する評価基準】 A:良好である B:要求水準達成 C:良好ではない

6. 業務履行状況の確認

(1) 指定管理業務の履行状況の確認

大項目	小項目	要求水準	履行状況	適否
平等利用の確保	保護者・利用者への平等な取扱い	保護者・利用者への平等な取扱いの実施	保護者・利用者への平等な取扱いを「学童保育クラブ入会のしおり」及び「児童ケース記録」等で確認した。	適
	保護者への情報提供	お便りや広報誌の配布又はHP・メール配信等での情報発信	保護者へ適切に情報提供をしていることを「おたより」等で確認した。	適
施設の運営方針・管理	運営方針・指導計画・年間指導計画に基づく保育の実施	事業計画に基づく事業の実施	事業を適切に実施していることを「年間計画」及び「実施報告書」で確認した。	適
	市への報告書類の提出	例月、学期の報告書類の提出	「育成日誌」及び「育成記録」を、各期日までに適切に提出していたことを確認した。	適
	施設の点検・保全	業務仕様書に定める頻度での点検実施	適切に点検を実施していることを「職場巡視点検票」等で確認した。	適
情報公開・個人情報保護	個人情報保護体制の整備	個人情報保護体制の整備	個人情報保護体制が整備されていることを法人の「個人情報保護規程」等で確認した。	適
	書類保管	個人情報の適切な管理(施錠された書棚での保存等)	個人情報が記載された書類が、施設内の鍵付き書庫等で適切に保管されていることを目視で確認した。	適
	情報公開体制の整備	情報公開体制の整備	情報公開体制が整備されていることを「情報公開規程」で確認した。	適
要望対応	要望対応体制の整備	要望対応体制の構築	苦情対応の体制が構築されていることを法人の「苦情解決に関する規程」等で確認した。	適
	要望窓口の周知	意見・要望を受け付ける窓口の周知、意見箱の設置等	苦情受付窓口が掲示板等で周知され、施設内に意見箱が設置されていることを目視で確認した。	適
危機管理	緊急時・災害時に備えた体制の整備	緊急時・災害時対応体制の整備	緊急時・災害時対応手順が整備されていることを法人の「学童保育クラブにおける救急対応マニュアル」等で確認した。	適
	避難訓練の実施	火災、地震、防犯に関する訓練を年2回以上、交通安全に関する訓練を年1回以上実施。	火災、地震、防犯に関する訓練を年2回以上、交通安全に関する訓練を年1回以上実施していたことを「事業報告書」で確認した。	適
	子どもの病気や事故に対する備え	病気や事故に対する対応手順の整備	病気や事故に対する対応手順が整備されていることを「学童保育クラブ感染症予防・対策マニュアル」等で確認した。	適
人的安定性	職員の適切な配置	業務仕様書に基づく配置	適切に職員が配置されていたことを「育成日誌」及び「シフト表」で確認した。	適
	職員研修の実施	年2回以上の職員研修の受講	年2回以上、職員研修を受講していたことを「研修記録」で確認した。	適

【評価対象年度 2023年度】

管理経費の縮減	計画的な執行	管理経費の適切な執行	関係経費の適切な執行に取り組んでいたことを「事業収支決算書」等で確認した。	適
	管理運営経費の縮減	管理運営経費の削減又は取組み	長期間使用しない家電等のコンセントを抜き、電気使用量を最小限にする等、管理運営経費の削減に取り組んでいたことを目視で確認した。	適
地域貢献	地元への貢献	地元での社会活動等への参加	地元団体と連携した行事等を実施していたことを「事業報告書」等で確認した。	適
	市民雇用	町田市民の雇用	市民雇用率が100.0%であることを「職員調書」で確認した。	適

(2)業務実施体制の確認

大項目	小項目	要求水準	モニタリング結果	適否
モニタリング その他	会計・経理モニタリング	会計・経理実施状況チェックシートの全ての確認項目が「適」である。	2024年1月26日に同一法人が管理する木曾学童保育クラブでモニタリングを実施し、総勘定元帳の項目で「不適」であったが、年度中に是正されたことを確認したため「適」とする。	適
	労働条件モニタリング	労働条件チェックシートの全ての確認項目が「適」である。	2024年1月26日に同一法人が管理する木曾学童保育クラブ外4施設でモニタリングを実施し、全ての確認項目で「適」であることを確認した。	適

業務履行状況の確認結果(適否)	所管課所見
<b>適</b>	要求水準を満たしていることを、各種根拠資料、事業報告書、育成日誌、現地調査、ヒアリングにて確認した。

【評価対象年度 2023年度】

7. 財務・収支状況の確認

(1) 公の施設に係る収支

単位:千円

項目	年度	2020		2021		2022		2023		2024		
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算	
収入	指定管理料	28,144	24,416	28,580	28,067	37,592	36,580	38,559	37,560	23,289		
	特別育成料	372	260	297	318	298	336	320	449	0		
	雑収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	寄附等	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	計	28,516	24,676	28,877	28,385	37,890	36,916	38,879	38,009	23,289	0	
支出	人件費	23,051	19,679	23,297	23,115	31,955	30,749	32,741	32,702	18,471		
	管理費	706	562	661	440	811	601	854	513	440		
	運営費	425	222	448	309	597	484	670	464	280		
	精算する経費	1,467	406	1,450	552	1,450	1,190	1,450	858	1,700		
	間接経費	2,867	2,400	3,021	2,752	3,077	2,956	3,164	3,104	2,398		
	計	28,516	23,269	28,877	27,168	37,890	35,980	38,879	37,641	23,289	0	
総計(収入-支出)	0	1,407	0	1,217	0	936	0	368	0	0		

(2) 指定管理者本部 ※共同事業体の場合、原則として代表企業を記載する。

単位:%

年度	2020	2021	2022	2023	2024
経常利益率	2.2	3.0	2.8	2.4	
負債比率	85.6	67.3	66.1	67.3	

【経常利益率(%)】経常利益 / 売上高 × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

【負債比率(%)】負債(他人資本) / 資本(自己資本) × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

財務状況に関する確認結果(適否)	所管課所見
<b>適</b>	決算書により、指定管理業務に関わる収支については黒字となっており、安定した運営を行っていることが確認できた。 また、法人の経常利益率がマイナスになっておらず、負債比率が100%を下回っていることから、今後も適切な施設運営が可能であると考えます。